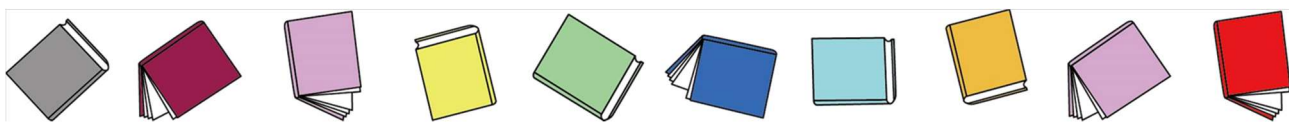


第4期日光市読書活動推進計画

令和4年3月
日光市教育委員会



目次

第1章 基本的な考え方.....	1
1 計画の趣旨.....	1
(1) 読書の意義.....	1
(2) 国・県の主な推進状況.....	1
(3) 市の推進状況.....	1
(4) 計画の期間.....	1
(5) 策定体制.....	1
(6) 計画の対象.....	1
第2章 第3期日光市読書活動推進計画の成果と課題.....	2
<目標1 あらゆる世代の市民が様々な方法で自由に読書に親しめる環境をつくる>.....	2
(1) 実施した推進策の成果と課題.....	2
(2) 成果指標.....	2
<目標2 全ての市民が読書習慣を身に付け学ぶ力を養う>.....	3
(1) 実施した推進策の成果と課題.....	3
(2) 成果指標.....	3
<目標3 市民全体の読書活動が活発化し読書時間の増大を図る>.....	4
(1) 実施した推進策の成果と課題.....	4
(2) 成果指標.....	4
第3章 第4期日光市読書活動推進計画の方策.....	5
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">日光市読書活動推進計画の目標.....</div>	5
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目標1 本にふれあうための機会の充実.....</div>	5
(1) 親子に対する読書のきっかけづくり.....	5
(2) 読書環境の整備.....	6
(3) 読書活動に関わる職員の資質の向上.....	6
(4) 図書館サービスの多様化と利便性の向上.....	6
(5) 全ての人が利用しやすい図書館の環境整備.....	7
(6) 図書館ボランティア団体の育成と活動しやすい環境整備.....	7
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目標2 読書に親しむための習慣づくりの推進.....</div>	8
(1) 保育園等における乳幼児期の読書習慣づくり.....	8
(2) 学校における児童・生徒の読書習慣づくり.....	8
(3) 図書館における市民の読書習慣づくり.....	9
(4) 「家読」の推進による読書習慣づくり.....	9
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目標3 家庭・地域・図書館・学校等の連携体制の強化.....</div>	10
(1) 保育園・公民館等各種施設と図書館の連携.....	10
(2) 学校と家庭が連携した読書の推進.....	10
(3) 保育園等とボランティア等との連携.....	10
(4) 学校と図書館との連携.....	11
第4章 「日光市読書の日」の推進.....	12
(1) 「日光市読書の日」の推進.....	12
第5章 計画の着実な推進のために.....	12
資料.....	13

はじめに

読書活動は、私たち一人ひとりが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことのできないものです。

日光市教育委員会では、平成20年3月に豊かなところと文化を育む施策の一つとして、「日光市読書活動推進計画」を策定して以降、平成28年3月には第3期計画を策定し、家庭・地域・図書館・学校を通じた読書活動の推進に取り組んでまいりました。

これまで全乳幼児を対象としたブックスタートの実施をはじめ、保育園・幼稚園等での読み聞かせ、学校への移動図書館の継続など、子どもを対象とした事業を中心に実施し、一定の成果を挙げています。

しかし、近年、携帯情報端末やインターネットなどの様々な情報メディアの急速な普及・発達は、市民の生活習慣に大きな影響を与えており、特に子どもにおいては本に接する機会の減少から「読書離れ」の一因ともいわれています。また、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、図書館においても新たな生活様式への対応が求められています。

このたび、令和4年3月に第3期日光市読書活動推進計画期間が終了することから、この計画の成果と課題を踏まえ、これまで実施してきた推進策を継続するとともに、新たな取組や連携体制の整備充実を図るなど、子どもを中心に全ての世代を対象として、読書活動をより一層推進する指針として第4期日光市読書活動推進計画を策定します。

令和4年3月

日光市教育委員会

第1章 基本的な考え方

1 計画の趣旨

(1) 読書の意義

次のようなことから、読書は人生をより深く生きる力を身に付けていく上でなくてはならない大切な活動です。

- ◇読書を通じて多くの言葉を知ることは、自分の思いをより確かにし、正しく伝えることにつながります。
- ◇読書は知識や情報を獲得する手段であり、それによって論理的に物事を考えることができるようになります。
- ◇読書によって、一人の人生では体験できない出来事や、会うことができない人の考えを知ることができます。

(2) 国・県の主な推進状況

子どもの読書活動に特化したものではありませんが、国・県においても、次のような推進をしています。

〔国の状況〕

平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を公布・施行して以降、図書館や学校図書館に関する法制上の整備がなされ、平成30年4月には、第四次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定されました。

〔県の状況〕

平成16年2月に「栃木県子どもの読書活動推進計画」を策定して以降、第二期・第三期計画を策定され、平成30年3月には、「栃木県子どもの読書活動推進計画（第四期）」を策定されました。

(3) 市の推進状況

日光市では上位計画である「第2次日光市総合計画」及び「第2期日光市生涯学習推進計画（基本構想）・（後期基本計画）」に位置づけられた読書活動推進の基本方向を示すとともに、関連する施策を効果的に実施するため、「第4期日光市読書活動推進計画」を策定します。

(4) 計画の期間

令和4年度から令和7年度までの4年間

(5) 策定体制

ア 市民代表

市民代表として日光市立図書館協議会委員10名より意見を徴収し、協議しました。

イ 関係機関

日光市読書活動推進計画に関する庁内連絡会、指定管理先である株図書館流通センターの意見を参考にしました。

(6) 計画の対象

本計画の対象はすべての市民とし、特におおむね18歳以下の子どもとします。また、子どもの読書活動の推進に関わる保護者やボランティアを始め、教育・行政関係者等も対象とします。

第2章 第3期日光市読書活動推進計画の成果と課題

<目標1 あらゆる世代の市民が様々な方法で自由に読書に親しめる環境をつくる>

(1) 実施した推進策の成果と課題

市民が身近な場所で気軽に読書を楽しむことができるよう、各施設が連携を図り、読書を楽しむ環境づくりを行いました。

市民の身近な施設である保育園や公民館等では、図書館と連携してリサイクル本などを活用しながら蔵書の充実を図りました。これらの取組を継続するとともに、今後は子どもの発達段階に応じた本の充実を図ることが求められています。

図書館においては、インターネットの図書検索サービスの周知を図るとともに、学校をはじめ高齢者福祉施設・障がい者福祉施設・ボランティア団体等を対象とした団体貸出(※1)の利用促進に努めました。成果指標であるインターネット予約件数については、目標には達していないものの増加傾向にあること、また、新型コロナウイルス感染症の対策として新たな生活様式が求められていることから、今後はインターネットを介した各種事業の強化・周知が重要となります。また、子どもたちが読書に親しむための環境づくりとして、今後も移動図書館(※2)や団体貸出の利用促進の継続も不可欠です。

学校では、学校図書館ボランティア(※3)の募集を行い、ボランティアに対する研修や講座情報を提供するなど活動への支援を行いました。学校図書館ボランティアが全学校で活動するという目標には届いていませんが、中学校では確実に実施校数が増えています。今後も、学校図書館ボランティアを募集して活動を支援するとともに、学習活動に応じた資料の提供や優良図書などの充実が求められています。

(2) 成果指標

指標名	設定時 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)	現状値 (令和2年度)
インターネットによる 予約件数	5,283件	20,000件	7,590件
読書関係ボランティア 数	260人	340人	216人
学校図書館ボランティ アが活動している学校 数	小学校24校/26校	小学校26校/26校	小学校22校/24校
	中学校5校/15校	中学校15校/15校	中学校9校/15校

※1 団体貸出：図書館から学校や保育園等の団体へ図書資料の貸出を行う

※2 移動図書館：図書館から図書資料を車に積み、各学校へ巡回して図書館のサービスを提供する

※3 学校図書館ボランティア：読み聞かせ等も含め、書架整理や図書の補修など、学校図書館に関わる活動をしている方々

<目標2 全ての市民が読書習慣を身に付け学ぶ力を養う>

(1) 実施した推進策の成果と課題

読書習慣を身に付けるために、ライフステージに応じそれぞれの施設において様々な取り組みを行いました。

保育園等では、図書館・ボランティア・保護者などと連携した読み聞かせを実施しました。身近な場所での乳幼児期の読み聞かせが読書習慣につながることから、読み聞かせを継続する取組が求められます。

図書館においては、8か月乳幼児健診時に全乳幼児に対してブックスタート(※4)事業を実施しました。この事業は子どもが本に触れるきっかけとなり、保護者にもその重要性を伝える機会であるため、継続が不可欠です。

学校では、小学生の図書館見学・一日図書館司書体験、中学生のマイチャレンジ(※5)などを通して児童生徒が年代に応じ、読書に興味を持つ機会を設けました。成果指標として全校一斉の読書活動の全校実施を目標としていましたが、目標には至りませんでした。読書時間を確保することが、読書習慣を身に付ける上で大きな役割を担うことから、今後も実施に向けての働きかけが重要と考えます。

また、市民一人当たりの図書貸出冊数は、令和元年度には4.05冊と計画策定時より順調に増加傾向で推移してきましたが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、図書館の休館や使用制限などから大きく減少しました。

新たな生活様式への対応として、来館せずに「いつでも・どこでも」利用できる電子書籍(※6)に注目が集まっていることから、電子図書館(※7)の更なる整備が必要となります。

(2) 成果指標

指標名	設定時 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)	現状値 (令和2年度)
図書貸出冊数(延べ冊数)	318,895冊	335,000冊	247,203冊 《328,046冊》
図書貸出人数(延べ人数)	88,436人	93,836人	57,882人 《85,451人》
市民一人当たり図書貸出冊数	3.68冊	4.00冊	3.10冊 《4.05冊》
全校一斉の読書活動の実施学校数	小学校23校/26校	小学校26校/26校	小学校22校/24校
	中学校10校/15校	中学校15校/15校	中学校12校/15校

※《 》内は、令和元年度の数値

※4 ブックスタート：司書・保育士・地域のボランティア等が連携・協力して乳幼児への読み聞かせの方法や子育て支援のメッセージなどを説明し、保護者に絵本等を手渡す活動

※5 マイチャレンジ：学校を離れ地域の人々との関わりを主とした職場体験を行う学習活動

※6 電子書籍：パソコン・タブレット・スマートフォンなどあらゆる端末で本を読むことができる本の電子データ

※7 電子図書館：インターネットを通じてパソコン・タブレット・スマートフォンなどから電子書籍を無料で借りて読むことができるサービス

<目標3 市民全体の読書活動が活発化し読書時間の増大を図る>

(1) 実施した推進策の成果と課題

家庭・地域・図書館・学校がそれぞれ連携し、ボランティアや市民団体とも協力して、読書時間の増大を図る取組を行いました。

図書館では市民のニーズを踏まえたサービスを提供し、誰もが利用しやすい図書館環境を整備するとともに、図書館及び公民館図書室等の利用案内を作成・配付しました。

学校においては、年間読書目標の設定や、読書量を記録する「読書カード」(※8)等を活用し、児童生徒の読書意欲を喚起する取組を行いました。小学校では全校で年間読書目標の設定または「読書カード」の活用を実施していますが、中学校では実施校が減少しています。

今後、さらなる読書時間の増大への取組が必要となります。

(2) 成果指標

指標名	設定時 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)	現状値 (令和2年度)
年間読書目標の設定または「読書カード」等の活用を実施している学校数	小学校26校/26校	小学校26校/26校	小学校24校/24校
	中学校9校/15校	中学校15校/15校	中学校5校/15校



▲電子図書の本を探す親子



▲図書館開催の講座・セミナーの一幕



▲図書館でのクリスマス会

※8 読書カード：読んだ本のタイトルや感想などを書き込む記録の様式のこと

第3章 第4期日光市読書活動推進計画の方策

日光市読書活動推進計画の目標

第3期計画の成果と課題から、子どもの読書において「(本を読む)きっかけ」・「(読書)習慣」・「(関係者・機関との)連携」の3つを重要なポイントとして捉え、以下を計画推進の目標としてその実現を目指し、一層の推進を行います。

目標 1	本にふれあうための機会の充実
目標 2	読書に親しむための習慣づくりの推進
目標 3	家庭・地域・図書館・学校等の連携体制の強化

目標 1 本にふれあうための機会の充実

現状と課題

インターネットを介した情報メディアの急速な普及・発達は、子どもの生活習慣に大きな影響を与え、これにより子どもの活字離れや読書離れが指摘されています。

子どもたちが本を読む楽しさを知ることができるよう、幼い頃から親はもちろんのこと、保育士や幼稚園教諭等が子どもたちへ積極的に絵本や物語に親しむ活動や環境づくりを行い、学校においても子どもたちが本を手に取りやすい環境を作る必要があります。

また、コロナ禍において、新たな生活様式として来館せずにインターネットを介して閲覧できる電子書籍が市民より求められていることから、電子図書館についても更なる整備が必要です。

具体的施策

(1) 親子に対する読書のきっかけづくり

図書館では、乳幼児健診時のブックスタート事業や読み聞かせの継続・充実を図り、乳幼児と保護者が共に図書館等を利用して楽しむ機会を創出します。また、学校や保育園等は各種研修会等を通して、読み聞かせや読書の必要性について周知に努めます。

<具体的な取組>

- ア 図書館による全乳幼児を対象とした8か月乳幼児健診時におけるブックスタート事業の継続やブックスタートコーナーの整備と利用促進
- イ 図書館等での絵本の読み聞かせなど、イベントや講座等の周知強化
- ウ 保育参観日での読み聞かせの実施や保護者会等でおすすめ絵本などの情報提供による読書の必要性の啓発・周知
- エ 家庭教育講座や読み聞かせ講座による読書の必要性の啓発・周知

(2) 読書環境の整備

子どもが本に興味・関心を持つために、図書館をはじめ、保育園・幼稚園、公民館等において、本にふれるきっかけづくりを目指します。

学校においては、訪れたいくなるような図書室の空間づくりや手軽に本に親しめる環境づくりに努めます。

<具体的な取組>

- ア 図書館利用者のニーズを的確に把握した図書館資料の選定や収集の実施
- イ 保育園・幼稚園、公民館等でのブックコーナーや絵本コーナーの整備と充実
- ウ 保育園・幼稚園、公民館等での図書貸出や推薦図書紹介など所蔵図書の活用
- エ 全ての学校で学校図書館図書標準(※9)を達成するため蔵書の継続的な収集と充実
- オ ディスプレイの工夫など魅力的で身近な読書空間づくり

(3) 読書活動に関わる職員の資質の向上

本のラインナップが充実していてもシステムが完璧でも、それらを用いる職員(保育士や図書館司書等)のモチベーションが低い場合、子どもたちの読書活動の推進を阻むことになりかねません。子どもたちの読書活動を推進するうえで職員は重要な役割を担っています。

子どもたちが幅広い分野の本に出会う機会が生まれるよう、読書活動に対する全ての職員の意識の高揚が必要です。

<具体的な取組>

- ア 研修参加による保育士・幼稚園教諭などの知識・技術の向上
- イ 図書館職員研修・専門研修などによる職員の資質向上と情報共有の徹底
- ウ 図書館司書の適正配置とサービスの質の向上

(4) 図書館サービスの多様化と利便性の向上

図書館を利用しづらい方が家庭でも図書館サービスを利用できる体制や公民館等で図書館サービスを提供できる体制を整備します。また、新しい生活様式として電子図書館や人と接触せずに本を借りられるセルフ貸出機(※10)の更なる充実を図ります。

<具体的な取組>

- ア 図書館のインターネット図書検索サービスの周知強化と利用促進
- イ 図書館資料の宅配貸出(※11)サービスの周知強化と利用促進
- ウ 図書館以外に設置されているブックポスト(※12)に関する周知強化と利用促進
- エ 電子図書館の更なる整備とデモンストレーション開催による利用促進
- オ 各図書館におけるセルフ貸出機の整備

※9 学校図書館図書標準：公立義務教育学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として平成5年3月に文部省が定めたもの

※10 セルフ貸出機：専用の機械を使い自分で貸出処理ができる機器

※11 宅配貸出：利用者の負担において、図書・雑誌等を宅配で貸出しができる方法

※12 ブックポスト：利用者が借りた図書館資料をいつでも返却できるよう設置された収納箱

(5) 全ての人利用しやすい図書館の環境整備

高齢の方や障がいのある方も安心して図書館が利用できるよう、社会福祉協議会やボランティア等との連携を図りながらサービスの充実に努めます。また、学校・家庭・学校図書館ボランティア・点字ボランティア(※13)などと協力し、障がいの状況に応じた選書や多様な読み聞かせ活動、視聴覚機器の効果的活用に取り組みます。

＜具体的な取組＞

ア 図書館の拡大鏡の整備と利用促進

イ 大活字本(※14)やLLブック(※15)の収集やリスト作成などによる利用促進

ウ 高齢者福祉施設・障がい者福祉施設、ボランティア団体等を対象とした団体貸出の周知と利用促進

エ 読み聞かせボランティアによる高齢者福祉施設・障がい者福祉施設での活動支援

オ 点字図書・録音図書の作成活動の支援と団体貸出等による支援

カ ボランティア活動希望者への社会福祉協議会や研修会等の情報の提供

(6) 図書館ボランティア団体の育成と活動しやすい環境整備

図書館では、図書館ボランティア(※16)の活動によって図書館運営が支えられています。図書館ボランティアの活動を更に充実させるため、団体への支援を行います。

＜具体的な取組＞

ア 図書館ボランティア育成講座・研修会の開催と開催情報の提供

イ 図書館ボランティアの募集・相談への助言等による支援体制の充実

ウ ボランティア等の活動への図書館資料等の提供とおはなし会等開催会場の提供等による団体活動の支援

エ 図書館ボランティア団体への読書推進関連情報の提供

成果指標

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和7年度)
インターネットによる予約件数	7,590件	9,100件
読書関係ボランティア数	216人	260人
学校図書館ボランティアが活動している学校数	小学校22校/24校	小学校23校/23校
	中学校9校/15校	中学校15校/15校
調べ学習時における団体貸出件数 ※現状値は小学校のみ。今後は中学校への貸出も考慮	2,173冊	4,000冊

※13 点字ボランティア: 広報紙などの印刷物を点字にして、視覚障がい者の方々に情報を提供している方々

※14 大活字本: 弱視者用に通常の本よりも2~3倍大きい文字で印刷された本

※15 LLブック: 知的障がい者や発達障害のある人などが読みやすいよう、写真や絵、短い言葉などで構成された本

※16 図書館ボランティア: 図書館の司書をサポートして、読み聞かせや本の修繕を行う方々

目標 2 読書に親しむための習慣づくりの推進

現状と課題

幼い頃の「本を読んで楽しかった」「本にはおもしろいことが書いてある」という経験は、生涯にわたる読書習慣の定着につながります。また子どもは、親など身近な大人が本を読む姿を見て読書意欲を高めることから、親子が本でコミュニケーションを図る「家読」(※17)の取組を推奨しています。

しかし、小中高校生を対象に県で実施した「子どもの読書活動に関する実態調査」(令和3年1月・2月)では、「家読を知っていますか」の質問に、「知っている」と回答した割合は小学生が51.8%、中学生が39.8%、高校生が19.9%と年齢が上がるにつれて「家読」の認知度が下がっています。「家読」の更なる普及・定着が大切です。

図書館では、本に関する様々なイベントや企画展を開催していますが、特に子どもたちが気軽に図書館に足を運んでくれるよう、創意工夫をする必要があります。

学校では、読書指導時間の確保と児童生徒の読書習慣の定着が望まれます。

具体的施策

(1) 保育園等における乳幼児期の読書習慣づくり

保育士等が日常行っている読み聞かせを継続するとともに、多様な読み聞かせ活動を実施します。また、保育園等での絵本の貸出等を通して、家庭における読書活動においてより一層の普及に努めます。

<具体的な取組>

- ア 保育園等での年齢や環境に応じた読み聞かせの実施や、紙芝居・パネルシアター(※18)
 - ・エプロンシアター(※19)等の実施
- イ 保育園等の絵本の貸出実施や絵本の作成など絵本を通じた親子のふれあいの場の創出
- ウ 子育てサークル等への図書館イベントや読み聞かせボランティアに関する情報提供

(2) 学校における児童・生徒の読書習慣づくり

学校においては、全校で継続して読書の時間を確保するとともに、読書習慣が定着するよう努め、教職員も児童・生徒と共に読書に親しむことで、読書活動の充実を図ります。また、子どもの発達段階に応じた図書コーナーや利用者のニーズに即した企画展示に努め、児童・生徒の読む意欲を引き出し、読書量を増やす取組を行います。

<具体的な取組>

- ア 各校での読書の時間の確保
- イ 全校一斉の読書活動の推進
- ウ 年間読書目標の設定や読書量を記録する「読書カード」等の活用

※17 家読(うちどく)：家庭で本を読んで感想を話し合ったり、好きな本を勧めあったり読書習慣を共有することでコミュニケーションを図り、家族の絆を強める取組

※18 パネルシアター：絵を描いて切り取った特殊な布を布張りパネルの上に付けたり外したりしながら物語の内容に沿った場面を演じる動く紙芝居のようなもの

※19 エプロンシアター：胸当て式エプロンを舞台に見立てて人形などを使っておはなしをするもの

(3) 図書館における市民の読書習慣づくり

図書館では、テーマに沿った企画展や季節に合わせたイベントなど利用者のニーズや好みに応じた催し等を開催します。また、年齢に応じた図書コーナーを設置するなど、図書館の利用を通して読書を身近なものと感じることができるように努めます。

＜具体的な取組＞

- ア 乳児から中学生までを対象とした年齢や学年に応じたおはなし会の開催
- イ 講座・映画会・工作会等のイベントの開催と関連図書の紹介を実施
- ウ 読書感想画の募集・展示と関連図書の紹介を実施
- エ 「子ども読書の日」(※20)・「こどもの読書週間」(※21)・「文字・活字文化の日」(※22)・「読書週間」(※23)等に合わせた、本に関心・興味を持つきっかけとなるような企画展や催しの実施
- オ 図書館での定期的な読書相談の実施
- カ 図書館での児童・生徒を対象とした「読書通帳(※24)」の導入検討
- キ 読書案内チラシの作成と周知拡大
- ク 図書館の広報活動(情報紙・HP・市の広報紙)の充実

(4) 「家読」の推進による読書習慣づくり

家で読書をする習慣をつけるため、情報の提供を中心に様々な企画をします。

＜具体的な取組＞

- ア 「家読」に関する情報の提供と啓発の推進
- イ 図書館による「家読」のおすすめ本の紹介
- ウ 「家読」に関する企画事業の実施

成果指標

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和7年度)
図書貸出冊数(延べ冊数)	247,203冊	321,000冊
図書貸出人数(延べ人数)	57,882人	75,000人
市民一人当たり図書貸出冊数	3.10冊	4.00冊
全校一斉の読書活動の実施学校数	小学校22校/24校	小学校23校/23校
	中学校12校/15校	中学校15校/15校
年間読書目標の設定または「読書カード」等の活用を実施している学校数	小学校24校/24校	小学校23校/23校
	中学校5校/15校	中学校10校/15校

※20 子ども読書の日：4月23日。国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、「子どもの読書の推進に関する法律」によって制定された

※21 こどもの読書週間：4月23日から5月12日までの、こどもの日(5月5日)を中心にした3週間。公営社団法人読書推進運動協議会が定め、昭和34年から開催されている。

※22 文字・活字文化の日：10月27日。国民の間に広く文字・活字文化についての関心と理解を深めるようにするため、「文字・活字文化振興法」によって制定された

※23 読書週間：10月27日から11月9日までの、文化の日(11月3日)を中心にした2週間

※24 読書通帳：銀行の預金通帳のように借りた本の記録を残せる図書館専用の通帳

目標3 家庭・地域・図書館・学校等の連携体制の強化

現状と課題

県で実施した「子どもの読書活動に関する実態調査」(令和3年1月・2月)では、1か月の読書量について、「0冊」と答えた割合は小学生が7.6%、中学生が15.2%、高校生が51.2%と年齢が上がるにつれて不読率が高くなっています。

このような本への興味・関心が低い子どもたちへ、本の楽しさや面白さを伝え、本にふれる機会を増やす取組が求められています。あらゆる子どもの読書活動を支援するため、家庭・地域・図書館・学校等の連携を強化し、各々の特性を活かした効果的な事業を推進していく必要があります。さらに、関係機関と緊密な連携を図り、情報を共有することが求められています。

具体的施策

(1) 保育園・公民館等各種施設と図書館の連携

日常的に読み聞かせを行っている保育園等と図書館の連携を図ります。また、市民にとって身近な施設である公民館等に図書を配置することにより、読書に対する興味を高めます。

<具体的な取組>

- ア 保育園等と図書館との連携による読み聞かせの実施
- イ 団体貸出や貸出文庫(※25)の利用促進
- ウ 図書館と連携した保育園・公民館等の購入図書選定や図書館の図書リサイクルによる蔵書の充実

(2) 学校と家庭が連携した読書の推進

学校での読書の様子を家庭に伝えるなど、家庭での読書の推進を図るため、学校と家庭が連携した取組を進めます。

<具体的な取組>

- ア 親子読書を推奨するパンフレットの作成とホームページや広報紙を通じた周知啓発
- イ 長期休暇に親子で読書に親しむ機会の推奨

(3) 保育園等とボランティア等との連携

保育園等と読み聞かせボランティアやおはなし会を行うボランティア等との連携を強化し、各々の特性を活かした事業を推進します。

<具体的な取組>

- ア 保育園等と図書館との情報共有による読み聞かせボランティア等との連携強化
- イ 保育園等と園児の保護者・地域の団体等との連携による読み聞かせ等の実施

※25 貸出文庫：公民館などを配本所とする図書資料の貸出

(4) 学校と図書館との連携

移動図書館や団体貸出を活用し、図書館資料の有効活用を図るとともに図書館の利用を促進します。また、職場体験事業等を積極的に受け入れ、図書館業務に対する理解を深めます。

学校においては、学校図書館ボランティアが図書館と連携しながら児童生徒の読書活動を支援します。

<具体的な取組>

ア 移動図書館の継続実施

イ 総合学習（調べ学習）等への図書館の協力と支援

ウ 小学校における図書館施設見学や中学校における職場体験による児童生徒の図書館に対する意識の向上

エ 学校を通じた児童生徒への図書館イベントや講座等関連事業の周知促進

オ 図書館における小学生の一日図書館員体験会、中学生のマイチャレンジ、高校生のインターンシップ（※26）などの職場体験事業の実施

カ 図書館による学校への図書情報の提供や購入図書選定への協力

キ 読み聞かせを学校図書館ボランティアが行う際の選書相談など図書館との連携

ク 学校図書館ボランティアの募集と研修や講座情報の提供など活動への支援

成果指標

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和7年度)
一日図書館員体験会	4人	12人
移動図書館（令和2年度は団体貸出）開催回数 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、移動図書館ではなく、図書資料の提供のみの団体貸出になりました	144回	160回

※26 インターンシップ：社会に出る前に仕事の場を体験すること

第4章 「日光市読書の日」の推進

読書活動を推進するためには、各施設や場所ごとの推進策を進めるとともに、一人ひとりがさまざまな方法で自発的に読書を推進していくことが必要です。また、市民全体の読書への意識を醸成し喚起していくには、市全体に浸透した統一的な推進活動も肝心です。

これらを踏まえ、市全体の読書活動活性化に向けた一体的な取組として市民全員にわかりやすく、また、誰もが読書を行うための契機となるよう、市では「日光市読書の日」を設定しています。

毎月4日、14日、24日の 4のつく日を

日光市読書の日

～ 4のつく日は ^{読んで}4デー ～

全市をあげた推進策

(1) 「日光市読書の日」の推進

毎月4のつく日を「日光市読書の日」とし、読書活動の活性化を推進します。

<具体的な取組>

- ア 図書館をはじめ、保育園・公民館・学校等、公共施設を通した「日光市読書の日」の周知と推進事業の展開
- イ ボランティア・市民団体・民間事業者等への周知と啓発事業の推進
- ウ 広報紙やホームページを通した各家庭への周知と啓発事業の推進

第5章 計画の着実な推進のために

第3期計画では、それぞれの目標に対して事業の着実な推進のため、日光市教育委員会事務局内に「日光市読書活動推進計画に関する庁内連絡会議」を設置し、それぞれの事業の進捗状況を確認、共有することで計画全体の進捗管理を行ってまいりました。

第4期計画においても、引き続き「日光市読書活動推進計画に関する庁内連絡会議」を通して、それぞれの推進目標に対する具体的な取組の進捗状況や成果指標の達成状況を確認し、計画全体の進捗管理を行ってまいります。また、成果や新たな課題を整理し、目標に即した対応を講じることで、計画の着実な推進を行ってまいります。

日光市読書活動推進計画に関する庁内連絡会議

- 所管 日光市教育委員会事務局生涯学習課
- 構成 各推進事業所管課等（令和3年度時点）
（学校教育課、中央公民館、日光公民館、藤原公民館、足尾公民館、栗山公民館、子育て支援課(令和4年度以降は保育課)）

資料

■図書館蔵書数

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
一 般 書	270,739 冊	275,089 冊	275,947 冊
児 童 書 (紙芝居含む)	144,764 冊	146,184 冊	149,530 冊
計	415,503 冊	421,273 冊	425,477 冊

■年齢別利用者登録者数

総数	就学前	小学生	中学生	高校生	18 歳以上 60 歳未満	60 歳以上
9,992 人	131 人	2,600 人	714 人	223 人	3,667 人	2,657 人

■図書貸出人数（延べ人数）

年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
一般	63,158 人	63,119 人	52,925 人
児童	23,407 人	22,332 人	4,957 人
計	86,565 人	85,451 人	57,882 人

■図書貸出冊数（延べ冊数）

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
一 般 書	161,247 冊	162,091 冊	138,568 冊
児 童 書 (紙芝居含む)	170,386 冊	165,955 冊	108,635 冊
計	331,633 冊	328,046 冊	247,203 冊

■図書館ボランティア団体

	団体名	活動内容	主な活動場所
1	ボランティア「かたくり」	絵本の読み聞かせ 紙芝居、手遊び、影絵 パネルシアター ブックスタート読み聞かせ 等	今市図書館 今市保健福祉センター
2	読み聞かせボランティア「ありんこ」	絵本の読み聞かせ、手遊び 等	日光図書館
3	ブックスタートボランティア「おひさま」	ブックスタート説明 ブックスタート読み聞かせ	日光図書館
4	おはなしキャラバン「ピンコロ」	人形劇、紙芝居、パネルシアター エプロンシアター 絵本の読み聞かせ 等	藤原図書館
5	子どもと絵本を楽しむ会「ばおばぶ」	絵本の読み聞かせ	藤原図書館



日光に誇りと愛着をもち、
生涯にわたり主体的に学ぶ人づくり
学びの循環による地域づくり